

2024年1月25日

たてくるジオパーク

だより 第65号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>



<https://facebook.com/tatekuro>

2024年
今年もよろしくお願ひいたします！



昨年中は、当協会の活動に多大なご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年は、立山黒部ジオパークに認定されて10周年の佳節です。また、今年は、再認定審査の年でもあります。これまで以上に、地域に根差したジオパーク活動を展開してまいりたいと思っておりますので、みなさまの更なるご協力をお願いいたします。



「令和6年能登半島地震」について

今年の元日16時10分頃、石川県能登地方の地震により、最大震度7を観測するなど能登半島を中心に強い揺れを観測しました。気象庁は、今回の地震及び令和2年12月以降の一連の地震活動について、陸域でマグニチュード7.0以上かつ最大震度5強以上の基準を満たしたことから、名称を「令和6年能登半島地震」と決めました。皆様も、経験のない大きな揺れに大変驚かれたことと思います。また、建物等の被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。テレビニュース等の報道では、能登半島の広い範囲で甚大な被害が発生し、大勢の方々が犠牲とされていることを日々伝えており、自然の脅威をまざまざと知らされております。

今回の地震は令和2年12月以降の一連の地震活動であると考えられています。2022年6月19日、石川県の能登地方の深さ13kmを震源とするマグニチュード5.4の地震があり、石川県珠洲市で震度6弱の激しい揺れを観測した他、能登町で震度5弱、輪島市で震度4の揺れを観測しました。このときの能登半島や富山の地震活動について、立山黒部ジオパーク協会学術顧問竹内章先生（富山大学名誉教授）に問答形式でお聞きし、本誌第49号を特集号として発行しました。問答は次の8つの問いで構成しています。問1.地震を起こす活断層とはどんなものですか？ 問2.能登半島は地震が起こりやすい場所ですか？ 問3.能登半島の地震は太平洋側のプレートが日本列島の下にもぐり込む際に巻き込んだ水が関係しているという報道がありました。そのメカニズムについて教えてください。 問4.奥能登の地殻変動や地震の群発活動は、いつか終息しますか？ 問5.もしプレートが巻き込んだ水が地震の原因になるとするならば、富山でも同様のことは起きるのでしょうか？ 問6.能登半島地震の震度分布を見ると、富山よりも遠い上越市の方が震度はより大きいようでした。地形や地質などの関係はありますか？ 問7.北陸地方では、海域も含めて最大でどのくらいの地震や津波が想定されるのでしょうか？ 問8.志賀原発の近くの活断層は10万年動いていないから活断層ではないという判断のようですが、なぜ今後動かないと予想できるのでしょうか？ 私たちの疑問に、専門的かつ分かりやすく解説してくださっています。是非、もう一度ご覧ください。

右のQRコードからご覧いただけます。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



立山黒部ジオパーク 写真展



【とうざわ印刷工業株式会社 提供】

—高低差 4000mロマン—

会期

2024年3月1日(金)～3日(日)
午前9時30分～午後9時
(初日のみ午前10時) (最終日のみ午後5時30分)

入場料

無料

会場

黒部ショッピングセンター メルシー
1階特設会場(通路中央)
〒938-0037 富山県黒部市新牧野311

協力：黒部ショッピングセンター メルシー

立山黒部ジオパーク写真展

このたび、立山黒部ジオパーク協会は写真展を開催いたします。この写真展は、立山黒部ジオパークのエリア内にある9市町村で行う予定にしており、今回は、黒部で開催いたします。「高低差4000mロマン」のキャッチフレーズのもと、宝ものであるジオ・自然・文化の貴重なサイト～ジオ・エコ・ヒトのつながりの素晴らしさを写真でご覧ください。

立山黒部ジオパーク協会

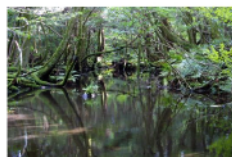
立山黒部ジオパークの特徴は、わずか約50kmの距離の中に標高3000m級の飛騨山脈から水深1000mを超える富山湾まで4000mにも達する高低差があることです。この地形や地質の特徴が急流河川やダイナミックな水循環を生み、豊かな自然と地域独自の文化や人々の生活を育んでいるのです。

(主な活動)

- 企画活動：シンポジウム、ジオカフェの実施
- ツアー活動：ツアーガイド派遣、拠点施設との連携
- 研究教育活動：サイトの研究、新たなサイトの調査、学校教育・地域教育・防災教育への講師派遣、講演会の実施
- 広報啓発活動：パンフレット、ジオパークたより、HPなどでの情報発信
- 人材育成活動：ジオガイド研修、新規ジオガイドの育成

(あゆみ)

- 2013年：立山黒部ジオパーク推進協議会 設立
- 2014年：日本ジオパークに認定
- 2015年：立山黒部ジオパーク協会 設立
- 2016年：とやま環境博覧 最優秀活動賞 受賞
- 2021年：日本ジオパークに再認定
- 2021年：日本ジオパークネットワーク表彰



【入善町 杉沢の沢スギ (ジオサイト)】



【立山町 室室平 (ジオサイト)】

問合せ 一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会

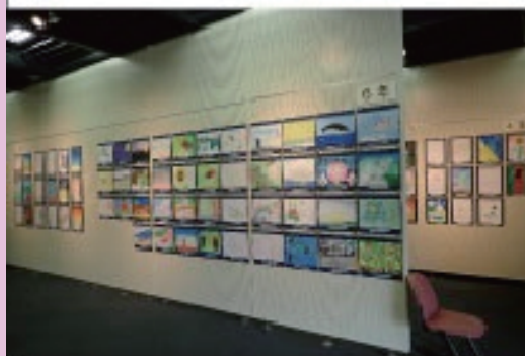
〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 タワー111ビル1階
電話 076-431-2089 FAX 076-482-3204
URL <https://tatekuro.jp>



富山市科学博物館

企画展

第31回 私の身近な自然展



富山市内の小学生が、身近な自然から得た感動を絵と文で表現した作品展です。

期日 2023年12月23日(土)～

2024年2月18日(日)

場所 2階ロビー

その他 観覧料必要(高校生以下無料)

<https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

ほたるいかミュージアム

『龍宮ホテル』の発光ショーを開催中!

ようこそ!
ほたるいかミュージアムへ

「龍宮ホテル」以外にも...

見られます!

エメラルドグリーン

触れます!

深海不思議の泉

水温 5°C

龍宮ホテルの発光ショー開催!

6/1～3/19
深海の光るプランクトン

「龍宮ホテル」は、深部に棲む小さなプランクトン。熱帯水層で刺激を与えると発光物質を出すんだよ!

滑川沖 水深333mより取水した海洋深層水のタッチプール。カニやエビがいるよ!

『龍宮ホテル』は、超音波を発する特殊水槽で刺激を与えると、エメラルドグリーンからブルーの色合いの発光物質を吐き出します。

2024年3月19日(火)まで開催

<https://hotaruikamuseum.com/museum>



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



1/22 立山黒部ジオパーク協会 部会長会議



1月22日、令和5年度第2回部会長会議を行いました。初めに各部会から報告を行いました。企画部会からは12/9シンポジウムについて報告。研究教育部会からは①文化庁委託事業「地球時間の旅展」、②学会発表、③富山市民大学講座、④富山大学連携事業、⑤出前授業、⑥富山地铁電車内広告について報告。ガイド部会からは①有償ガイド実績、②ジオパーク散歩実績と来年度の計画、③来年度スキルアップ講座案を報告。広報啓発部会からは①たてくろジオパークだより発行、②プレスリリース、③報道実績を報告するとともに、10周年記念誌制作とジオパーク写真展開催について連絡。保全部会からは今年度のサイトモニタリングについて報告しました。次に、事務局から今年度の実施計画の進捗状況、来年度の日本ジオパーク再認定、今年度会計決算見込について報告しました。

12/12 富山市立奥田小学校 出前授業



富山市立奥田小学校から、富山市のジオガイド等派遣事業を活用し、理科「流れる水のはたらき」と地域学習をつなげた学習活動を展開してほしいと立山黒部ジオパーク協会に依頼がありました。そこで、専門員がスライドショーや実験を通して、「富山県の川ってどんな川？」というテーマで活動を展開しました。県内の河川はとても急流であることやそれによって扇状地がつけられたこと等を話しました。児童たちは、「流れる水のはたらき」での学習内容と身近な川をつなげ、学習内容を深め、そして、広がっていたようです。

たてくろ 見どころ紹介コーナー

西大森の大転石 (富山平野エリア)

大洪水から村人を守った大転石
— 高さ7.2m、周囲32.4mの巨石を押し流すほどの鉄砲水 —

1858(安政5)年4月9日に発生した飛越地震(推定M7.1)によって立山カルデラに流れ込んだ大量の土砂が常願寺川上流の真川、湯川をせき止め、大きなせき止め湖ができました。この湖は、余震により、2度にわたって決壊し、鉄砲水が下流の平野部に大きな被害をもたらしました。

西大森の大転石は、4月23日の1回目の洪水で横江地先まで転がり下り、さらに6月7日2回目の洪水で旧大森村まで移動しました。このとき、この巨石によって濁流の向きが西に変わり、西大森より下流右岸側の被害を少なくしたとされています。現在見えているのはほんの一部で、大部分は堤防の下に埋まっています。村人はこの巨石の恵みに感謝して、巨石の上部に石をのせ水神碑を建て、護岸の神として水神様の祭を今も続けられています。

西大森の大転石は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。
<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=99>



<編集後記> 元日の地震のとき、皆様はどのように過ごされていたでしょうか。多くのご家庭も同様だったのではないかと思います。我が家は同居家族が全員そろっており、それぞれの部屋でのんびりしていました。経験のない大きくて長い揺れの後、津波警報が発令されると妻と娘は避難すると言い出しました。我が家は岩瀬浜から7km以上南にあり、標高も10m以上あるので、私は大丈夫だと言ったのですが、「東日本大震災では、みんなそう言ってやられたんだよ。何もなくて帰ってきたねえから行こう」と言う娘の言葉に反論できず、全員で車に乗って南に向かって30分ほど走りました。しばらくして自宅へもどりましたが、結局、家も家族も全員無事でした。娘の言った通り「なににもなくて帰ってきて本当によかった」と思いました。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会(076-431-2089)までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



